

計画事業番号	00002	事務事業名	生活習慣病予防事業	担当部署	保健福祉部健康推進課	電話	1212
--------	-------	-------	-----------	------	------------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	健康増進法第17条第1項、19条の2				
事務事業開始年度	平成13年度	個別計画等	北広島市健康づくり計画 健康きたひろ21				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章)	支えあい健やかに暮らせるまち
	(第 1 節)	健康づくり・地域医療の充実
	(施策 1)	健康づくりの推進
2 対象	特定健診やがん検診を受診し、所見があった方	
3 目的と内容	生活習慣病の予防・悪化防止を図るために、病気について正しい知識を持ち日常生活習慣を改善することを目的に、脳血管疾患や心疾患などの重篤な生活習慣病を予防するための生活習慣病予防教室や特定健診を受診し、特定保健指導の対象外であるが血液データなどから予防、改善が必要な方に対して成人健康相談を行う。がん検診や結核検診の精密検査未受診者などへの受診勧奨を行う事後指導を実施する。 【前回推進計画からの変更点】 H29年度～非常勤職員の交替により通勤手当の変更増額 H31年度～水銀血圧計使用終了による処分と水銀レス血圧計の購入	
4 実施内容(手段)	28年度まで	(1)生活習慣病予防教室 (2)成人健康相談 (3)がん・結核検診事後指導
	29年度	(1)生活習慣病予防教室 (2)成人健康相談 (3)がん・結核検診事後指導

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
(1)生活習慣病予防教室の開催 (2)成人健康相談の実施 (3)がん・結核検診の事後指導	(1)2コース参加数 実18人 延50人 (2)定例23回 訪問122回 相談数381人 (3)事後指導数119人	生活習慣病予防教室の開催 成人健康相談の実施 がん・結核検診の事後指導	生活習慣病予防教室の開催 成人健康相談の実施 がん・結核検診の事後指導	生活習慣病予防教室の開催 成人健康相談の実施 がん・結核検診の事後指導	生活習慣病予防教室の開催 成人健康相談の実施 がん・結核検診の事後指導	生活習慣病予防教室の開催 成人健康相談の実施 がん・結核検診の事後指導	生活習慣病予防教室の開催 成人健康相談の実施 がん・結核検診の事後指導

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	幅広い年代への生活習慣病改善の意識付けとして必要な事業である。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			3,090		3,266		3,270		3,350	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	452		456		456		456	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	2,638		2,810		2,814		2,894	
	① 合計	3,090		3,266		3,270		3,350		
額	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
		③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
		④ =②×③	8,400	0	8,400	0	8,400	0	8,400	0
総事業費①+④			11,490		11,666		11,670		11,750	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①生活習慣病予防教室参加数	目標値	人	30	30	30	30
		実績値		18			
	②成人健康相談数	目標値	人	250	300	300	300
		実績値		381			
③がん・結核検診の事後指導	目標値	人	80	100	100	100	
	実績値		119				
④	目標値						
	実績値						
成果指標	①生活習慣病予防教室参加後のアンケート 【参考になったと回答した割合】	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		100			
	②相談対象者への保健指導率 【保健指導実施数/成人健康相談対象数】	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		65.2			
③がん検診精密検査受診率 5大がん検診精密検査受診者数 /5大がん検診精密検査対象者数	目標値	%	—	90	90	90	
	実績値		80.3				

【評価項目】

チェック項目		評点	コメント
妥当性	・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	生活習慣病は社会的な問題となっており、発病の危険性が高い方に予防を行っていくことは、本人の生活の質を保持するとともに医療費の負担軽減に繋がる。
達成度	・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	成果指標から健診データの改善や生活習慣の改善がみられ、成果は上がっている。
成果向上	・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	受診勧奨を次年度以降も継続強化して実施することにより保健指導率を向上させていくことができると予測される。
経済性	・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	2	健康づくり計画に基づく事業を実施していくことで経費を可能な限り削減していく。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--